

令和6年 第2回 福島区歴史研究会セミナー 『堂島川と文人たち』

～ 天神社の位置とかかわり ～

日時 令和6年9月1日(日) 午後2時～4時(受付1時30分より)

会場 福島区民センター 301・302号室

〒553-0006 大阪市福島区吉野 3-17-23 (福島図書館・スポーツセンターと同じビル)

講師 白江恒夫氏(天神社宮司・博士〈文学〉)

定員 50人(当日先着順) ・ 入場無料

共催 福島図書館

問合せ 福島区歴史研究会 セミナー担当 水谷浩一 ☎ 090 - 1155 - 2092

天神社の位置と堂島川を往来した文人官吏

通称「下福島天神社」は、堂島の北を流れる旧曾根崎川(蜷川)が堂島川(旧淀川)に合流する地にあります。そこは、中之島の北を流れる堂島川と南を流れる土佐堀川が船津橋付近で合流する中之島の西端です。ここから安治川(新川)となって大阪湾へ注ぎます。

このように「下福島」(旧町名)は堂島川沿いに発達した水上交通の要衝に位置しており、昭和6年(1931年)には氏地内に大阪中央卸売市場(本場)が開場されました。

ところで、九世紀以降の平安時代には、京の都からこの川を上り・下りした多くの文人官吏がいました。『古今和歌集』や『小倉百人一首』に採歌された小野篁・菅原道真・紀貫之がよく知られていますが、本講では天神社の位置及びこれ等の文人の爲した仕事や人物像の一端に触れてみたいと思います。



宮比事平神社【相殿社】



天神社 拝殿

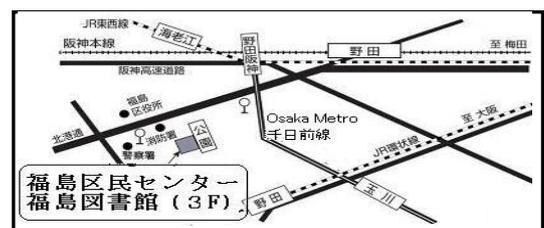


豊光神社【稻荷社】

会場案内

福島区歴史研究会 HP

<http://o-fukushima.com/rekishi/top.htm>



∞ 展示案内 ∞

「福島区の学校」 福島区役所展示コーナー (1階・5階) 期間 ～ 9月30日(月)

「海老江の今昔」 福島図書館郷土資料展示室 期間 7月19日(金)～10月16日(水)